

**学
校
新
聞**

かがやき

第49号

稻沢市立千代田小学校

◎ 一日の中で…
・朝起きたら
「おはようございます」

あいさつは、『人と人とが仲よくなるための第一歩』大人になつても大切です。

日パワーをもらっています。

最近子どもたちの様子に少しずつ変化が見られるようになります。出せなかつた子も、教室では、みんなであいさつすることになりました。四月の頃は、門では声を出せなかつた子も、教室では、みんなであいさつすることになりました。五月になると、私を待ち構え、あいさつを返してくれました。六月になると、私を出迎え、私より先に元気よくあいさつをしてくれる子が増えました。そんな子どもたちに、毎日パワーをもらっています。

あいさつは、『人と人とが仲よくなるための第一歩』大人になつても大切です。

昨年度赴任をしてから、継続して行つていていることがあります。それは、時間が許す限り、子どもたちの登校時には東門で出迎え、下校時には南門で見送る、ということです。そして、その際には、笑顔で元気なあいさつを心がけています。

子どもたちが門をくぐった後には、一年生と二年生の教室を回ります。再度、大きな声で「おはようございます」と声をかけます。どの学級も元気な声であいさつを返してくれます。

最近子どもたちの様子に少しずつ変化が見られるようになります。出せなかつた子も、教室では、みんなであいさつすることになりました。四月の頃は、門では声を出せなかつた子も、教室では、みんなであいさつすることになりました。五月になると、私を

・日々の積み重ね
校長 三川 純代



・ご飯を食べるときには
「いただきます」
・食べ終わつたら
「ごちそうさまでした」

・出かけるときには
「いってきます」
・出かける人には
「いってらっしゃい」

・昼に会つたら
「こんにちは」
・親切にされたら
「ありがとうございます」

・ありがとうを言われたら
「どういたしまして」

・悪いことをしたら
「ごめんなさい」

・許してあげるとときには
「いいよ」

・夜に会つたら
「こんばんは」

・家に帰つたら
「ただいま」

・帰つてきた人には
「おやすみなさい」

・夜寝る前には
「おやすみなさい」

・家に帰つたら
「ただいま」

・帰つてきた人には
「おかえりなさい」

・夜寝る前には
「おやすみなさい」

・分からあいさつをしています
か?

・みなさんは、どれくらい、自分

・あいさつは、簡単にできそ
うですが、大人になつてから「あ

・あいさつを習慣付けよう」と思つ
ても、相手がどう感じるか、こ

・のタイミングかなどいろいろ

・考えてしまつて案外難しいもの
です。子どものうちから、自然

・にあいさつができるよう習慣付
けたいものです。人と人が出会

・い、互いに心と心を通わせるこ
とができる「あいさつ」を大切

「先生、おはよう！」と笑顔であいさつをしながら登校する子どもたち。その元気な声と表情は、今日も安全に学校へ来られたことの何よりの証です。そして、その背後には、地域の皆様の温かな支えがあります。

私たちが目指すのは、「子どもたちが安心して過ごせる学校」、そして「保護者の皆様が安心して子どもたちを送り出せる学校」です。学力や体力の向上、心の成長も、安心・安全な環境があつてこそ実現できるものだと考えています。

本校では、交通安全教育、防災・防犯教育など、日々の教育活動の中に「安全意識の向上に向けた取組」を組み込んでいます。今年度はこれまでに、地震を想定した「避難訓練」、警察官や交通安全指導員の方にご指導いただいた「交通安全教室」、綜合警備保障の方をお招きして行つた「一年生対象の「あんしん教室」など、子どもたちが自分の命を自分で守る力を育てています。

そして何より、地域の皆様による日々の支えが学校の安心・安全のために大きな力となつています。登下校時には、スクールガードの方々が交差点や通学路に立ち、子どもたちに温かく声をかけながら見守つてくださつています。その存在は、交通事故や不審者から子どもたちを守る「地域の目」として、なくてはならないものです。

また、校内の環境整備にも、多くの学校支援ボランティアの方々が関わつてくださつています。草刈りや花壇の手入れなど、子どもたちが気持ちよく過ごせる学校づくりのために、惜しみないご尽力をいただいています。このような地域の力が、学校の安心・安全の土台を支えてくださつてることを、日々実感しています。

「学校・家庭・地域」のつながりの中で、子どもたちは人との関わりを学び、豊かな心を育てています。私たち教職員も、その輪の中で責任をもち、一人ひとりの子どもが「ここにいてよかつた」と思えるような学校をつくつてきたいと思います。

「安心・安全」をすべての学びの土台に

